

在日朝鮮人と天皇制

指紋押捺拒否の闘いから

1980年以降、全国で闘われていた指紋押捺拒否の裁判が、1989年1月7日の昭和天皇死去に伴う「恩赦」で打ち切られたのをご存知ですか？ 当時、指紋押捺を拒否し、再入国許可のないまま留学していた崔善愛さんは、この知らせを米国で聞いたといいます。「殴り、踏みつけたものが赦すとは本末転倒である」――父である崔昌華牧師をはじめ、公判中の33名ほぼ全員が「恩赦」を拒否しましたが、免訴判決によって裁判は継続できませんでした。

在日朝鮮人の歴史は、天皇制のもとでの植民地支配と切り離せません。日本国憲法施行の前日に、天皇最後の勅令で「外国人登録令」を朝鮮人に適用し、日本が主権を回復したその日に、法務省民事局長の通達ひとつで日本国籍を剥奪しました。

内閣改造のたびに「法務大臣」を最初に確認するという崔善愛さん。21歳で指紋押捺を拒否し、その後も不服従の闘いを続けるなかでみえてきた日本という国家、そして天皇制についてお話を聞きます。

日 時： 2025年11月3日(月・休) 14:00～16:30

お 話： 崔善愛さん

会 場： AVACO チャペル(定員60名/予約・先着順) *wamと同じ階です

参加費： 1000円(wam会員。非会員は1200円)



*オンラインは翌日夕方以降のオンデマンド配信(1か月)になります。

お申し込みは左記二次元コードから Google フォームで。wam 事務局にメールをくだされば URL をお送りします。会場参加のみ電話での申し込みも可能です。



【ゲスト紹介】 チェ・ソンエ

1959年生まれ。北九州市出身。ピアニスト。在日2.5世。愛知県立芸術大学大学院修了後、米国インディアナ州立大学大学院に3年間ピアノ留学。外国人登録証申請時の指紋押捺拒否を理由に再入国不許可となり、14年間永住資格をはく奪された。1999年、国会参議院法務委員会で意見陳述、その後、特別永住資格を取り戻した。主な著書に『「自分の国」を問いつづけて―ある指紋押捺拒否の波紋』(岩波ブックレット、2000年)、『父とショパン』(影書房、2008年)、『ショパン―花束の中に隠された大砲』(岩波ジュニア新書、2010年)、『十字架のある風景』(いのちのこば社、2015年)ほか。

wam セミナー 天皇制を考える

wam は、「女性国際戦犯法廷」(2000年、東京)から20年の節目にあたって、2020年9月から天皇由来の「祝日」のうち4日間を「祝わない」ために開館することにしました。天皇の戦争責任・植民地支配責任を問い、天皇制を維持してきた責任を見つめなおすために、タブーなく天皇制について議論できる「場」をつくっていきます。

■これまでのセミナー

第1回 2020年11月3日

テーマ: 叙勲・お言葉・思いやり…天皇と「国民」を結ぶもの—「明治節」に考える—
お話: 池田浩士さん(京都大学元教員)

第2回 2021年2月11日

テーマ: 桜の国の悲しみ、菊の国への抗い—「紀元節」に伝えておきたいこと
お話: 石川逸子さん(詩人)

第3回 2021年2月23日

テーマ: 「歌会始」が強化する天皇制—序列化される文芸・文化
お話: 内野光子さん(歌人)

第4回 2021年4月29日

テーマ: 「昭和の日」に記憶する天皇の戦争責任—近年の研究成果から学ぶ
お話: 山田朗さん(明治大学平和教育登戸研究所資料館館長)

第5回 2021年11月3日

テーマ: 近代天皇と家族の表象
お話: 北原恵さん(大阪大学元教員)

第6回 2022年2月11日

テーマ: 近代天皇制がつくってきた差別—水平社宣言から100年を機に考える
お話: 黒川みどりさん(静岡大学教員)

第7回 2022年4月29日

テーマ: 天皇と戸籍
お話: 遠藤正敬さん(早稲田大学台湾研究所非常勤次席研究員)

第8回 2022年11月3日

テーマ: 撃ちてし止まむ!
お話: 池田浩士さん(京都大学元教員)

第9回 2023年2月11日

テーマ: 天皇制と仏教
お話: 源淳子さん(仏教・ジェンダー研究)

第10回 2023年4月29日

テーマ: 植民地責任から問う—靖国神社、合祀の罪(準備編)
映画上映: 『あんにょん・サヨナラ』(監督: 金兌鎰、共同監督: 加藤久美子/2005年/107分)
アフタートーク: 南相九さん(東北アジア歴史財団研究政策室長)

第11回 2023年5月25日

テーマ: 植民地責任から問う—靖国神社、合祀の罪
お話: 李熙子さん(太平洋戦争被害者補償推進協議会代表)

第12回 2023年11月3日

テーマ: 日本の近現代史からみる—天皇制と勲章
お話: 栗原俊雄さん(毎日新聞専門記者)

第13回 2024年2月11日

テーマ: 「国民」が支える象徴天皇制—なぜ天皇制に終止符が打てないのか
お話: 伊藤晃さん(千葉工業大学元教員)

第14回 2024年4月29日

テーマ: 女のからだと天皇制—墮胎罪と「不良な子孫」の出生防止
お話: 大橋由香子さん(フリーライター・編集者)

第15回 2024年11月3日

テーマ: 「皇国史観」はどう作られたか—文部省の思想統制政策と歴史家の責任
お話: 長谷川亮一さん(立教大学日本学研究所研究員)

第16回 2025年2月11日

テーマ: 天皇のお金—明治から戦後まで
お話: 加藤祐介さん(一橋大学大学院専任講師)

第17回 2025年4月29日

テーマ: 沖縄と天皇制—疑似天皇制に振り回される女性たち
お話: 宮城晴美さん(沖縄女性史家)

会員になりませんか?

●友の会年会費: 3,000円 ●維持会員年会費: 10,000円

会員にはニュースレター(年3回)のほかイベント案内などを逐次お知らせします。維持会員は入館料無料。各種セミナーや刊行物の割引もあります。

郵便振替口座番号: 00110-2-579814

口座名称: 「わたしの戦争と平和人権基金」係

wam

アクティブ・ミュージアム

わたしの戦争と平和資料館

women's active museum on war and peace

開館時間: 金・土・日・月 13:00~18:00

2月11日、2月23日、4月29日、11月3日は「祝わない」ため開館

休館日: 火・水・木・祝日(天皇制由来の上記4日を除く)

※時間外の団体来館はご相談ください。
※展示入れ替え期間と年末年始は休館となります。

入館料: 18歳以上 500円

18歳未満 300円

小学生以下 無料

※障害のある方の付き添いは無料です。

東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F 〒169-0051

T: 03-3202-4633 F: 03-3202-4634 E: wam@wam-peace.org

URL: https://wam-peace.org

